

注意 ご使用になる前に必ずお読みください。(本書は大切に保管してください)

安全にご使用頂くために

本書では危険を伴う操作・お取扱について、次の警告記号を用いて重要な部分が一目で判るようにしています。内容を良くご理解の上で本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取扱をすると人が死亡又は、重症を負う可能性が想定される内容を示します。

注意 この表示を無視した取扱をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容を示します。

●設置 **注意**

- ディスプレイを取り付ける際はディスプレイの説明書と異なった設置条件では取り付けないで下さい。機器の破損の原因となります。
- ディスプレイの取付は必ず二人以上の作業者で行ってください。転倒及び落下し機器の破損、怪我をする恐れがあります。
- やわらかい床面、傾いたところなど不安定な場所に設置しないで下さい。転倒し怪我の原因となることがあります。
- 設置場所が決定したら、キャスターのストッパーをかけ、本機が自走しないようにしてください。不意に動き出すと怪我の原因になることがあります。
- 搭載荷重以上のものを搭載すると転倒し機器の破損、怪我をする恐れがありますので搭載物の重量を確認し搭載してください。

●使用方法 **注意**

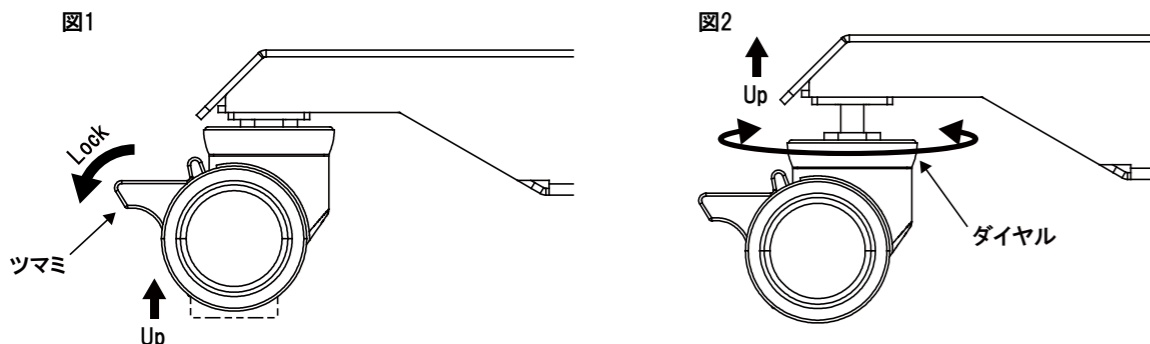
- 本機に乗る、脚をかける、ぶら下がる、棚の上に乗る等の行為をすると転倒し怪我の原因となることがあります。
- 設置後はボルト、ネジ等の緩みがないか定期点検を実施してください。

1. 機能

1 キャスター使用方法 **注意**

- 注意**
- 設置場所が決定したら、キャスターのストッパーをかけ、自走しないようにしてください。不意に動き出し転倒し機器の破損、怪我をする恐れがあります。
 - 移動時はキャスターのストッパーを解除してください。キャスターが破損する恐れがあります。

- キャスターのつまみを下方向へ倒すと、アジャスターが下がり本体が持ち上がり固定できます。(図1)
- ダイヤルを回すとキャスターの高さが調節でき、平たんではない床面でも接地が可能です。(図2)

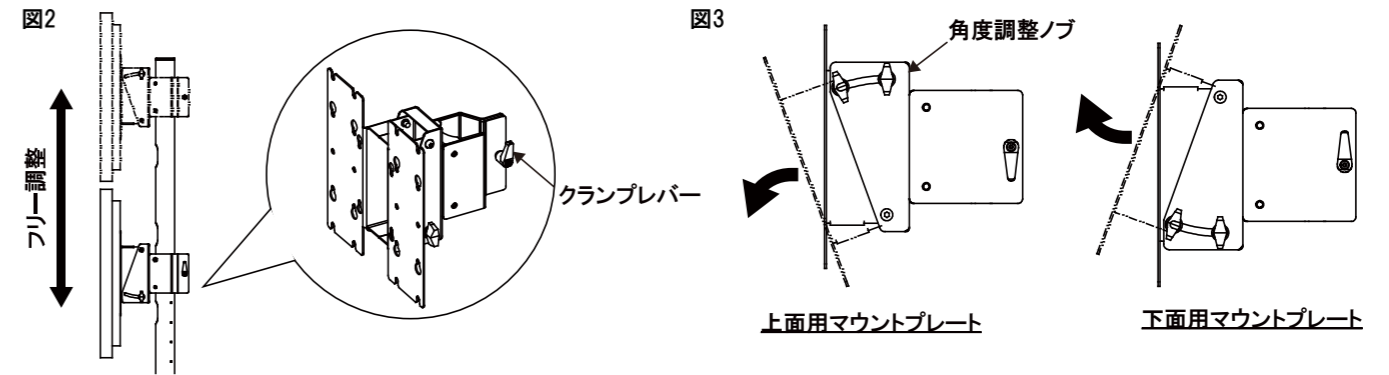


2 ディスプレイの高さ・角度調整

注意

- ディスプレイの取付高さを変更する場合、二人以上で行ってください。落下し破損、怪我をする恐れがあります。
- 高さ調整、角度調整時は調整部に指や手を入れないようにしてください。挟み怪我をする恐れがあります。
- 搭載可能なディスプレイの最大重量は1面あたり10kgです。

- ディスプレイ取付け高さはフリーで調整することが出来ます。マウントプレートのクランプレバーを緩め、高さを調整してください。(図2)
- 両側にある角度調整ノブを緩めると、前後する事が出来ます。設置状況に合わせてディスプレイの角度を調整してください。(図3)



3 ケーブル配線

- メインフレーム前面上部に3カ所ケーブル通し穴がありますのでケーブルをパイプの中を通して使用してください。(図4)
- ※コネクターが大きい場合は通らない可能性がありますので外側に這わせてください。
- メインフレーム下部背面にケーブル通し穴がありますのでパイプの中を通したケーブルを出して使用してください。(図5)
- また、ベースをパイプが貫通していますので底面からケーブルを出す事も出来ます。

